

プレスリリース

報道関係者各位

2026年7月29日

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）

第50回ピティナ・ピアノコンペティション「特級」 セミファイナリスト（6名）のお知らせ

7/29付で、第50回ピティナ・ピアノコンペティション「特級」（年齢制限なし）セミファイナリスト6名が決定しました。

8/18セミファイナル（会場：第一生命ホール）にてファイナリストが、8/21ファイナル（会場：サントリートホール）にてグランプリが決定いたします。ぜひご注目ください。



◆特級公式サイト

◆出場者プロフィール

特級
2026



◆ピティナ特級とは

「特級」は、毎年全国から延べ約3万人が参加する世界最大規模のピアノコンクール「ピティナ・ピアノコンペティション」の最高峰に位置する部門である。

1977年の創設から第50回を迎えるまで、数多くの音楽家を輩出してきた。近年では、桑原志織、進藤実優、鈴木愛美、亀井聖矢、角野隼斗、山崎亮汰、黒木雪音、古海行子らが特級を経て、国内外のコンクールや演奏会で活躍している。

国際コンクールを見据えた課題と複数のラウンドを通じて、演奏技術だけでなく、幅広いレパートリーへの対応力、プログラム構成力、共演者と音楽をつくる力など、ピアニストとしての総合力を問う舞台となっている。

7月29日の三次予選でセミファイナリストが決定した。

8月18日のセミファイナルで4名のファイナリストが選ばれ、

8月21日のファイナルにてグランプリが決定する。

7月末の二次予選より、ライブ配信も行われており全国各地から大きな反響を得ている。

※これまでのグランプリ／過去の入賞者たちの活躍はこちら

<https://tokkyu.piano.or.jp/record/index.html>

◆ピティナ・ピアノコンペティション2026 特級セミファイナリスト一覧

(かな／学歴／出身地) ※セミファイナル演奏順

中澤 真唯 (なかざわ・まい／埼玉県出身／東京藝術大学大学院修士課程2年)

いしかわミュージックアカデミーにてIMA音楽賞受賞。Shigeru Kawai国際ピアノコンクールセミファイナリスト。ショパン国際ピアノコンクールin Asia コンチェルトC部門アジア大会金賞、コンチェルト賞。東京音楽コンクールピアノ部門入選。パデレフスキ国際ピアノコンクール(ポーランド・ビドゴシュチ)出場。東京藝術大学器楽科ピアノ専攻を卒業し、現在同大学院修士課程に在学中。学内にて藝大クラヴィア賞を受賞し、モーニングコンサートに出演。学部卒業時にアカンサス音楽賞、藝大クラヴィア賞、同声会賞を受賞。ソリストとして藝大フィルハーモニア管弦楽団、東京交響楽団と共演。これまでに鬼村玲子、大導寺鎌太郎、山崎裕、中井恒仁の各氏に、現在有森博、鈴木弘尚の各氏に師事。2024年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。2025,2026年度公益財団法人北野生涯教育振興会奨学生。

山崎 夢叶 (やまざき・ゆうと／千葉県出身／東京藝術大学4年)

千葉県出身。千葉大学教育学部附属小・中学校卒業。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、現在東京藝術大学音楽学部4年在学中。2026年度青山音楽財団奨学生。第12回アリオ音楽賞奨励賞受賞。2024年度、学内にてアリアドネ・ムジカ賞を受賞。第93回日本音楽コンクール第4位。第8回ヤマハジュニアピアノコンクールユース部門グランドファイナル第1位。第4回ソナタコンクール全章章部門金賞。第9・10回福田靖子賞選考会入選。ピティナ・ピアノコンペティションE級金賞、Jr.G級銀賞。その他多数入賞。これまでにソルフェージュを佐々木邦雄、ピアノを中田美由紀、新海未穂、佐々木恵子、Luis Fernando Perez、有森博の各氏に師事。

沢田 蒼梧 (さわだ・そうご／愛知県出身／名古屋大学医学部医学科卒業)

愛知県半田市出身。6歳よりヤマハ音楽教室にてピアノを始め、山口延子・山脇一宏講師に師事。15歳より関本昌平氏の下で学び、現在、上原彩子氏の指導も受ける。医学との二刀流で数々の権威ある国際コンクールに出場し、NHK「ショパンに挑みし者たち〜2021ショパン国際ピアノコンクール〜」「リサイタル・パッショ」「ラジオ深夜便」出演を始め、TV・新聞・雑誌など多くのメディアで取り上げられる。2021年第18回ショパン国際ピアノコンクール本大会二次審査進出。2018年ジュネーヴ国際音楽コンクール最年少ベスト16入選。これまでにポーランドシレジアフィル、東京シティ・フィル、名古屋フィル、中部フィル、大阪交響楽団、広島交響楽団等と共演。国内各地、及び、ワルシャワにてリサイタル開催。東海中学校・高等学校6年連続首席卒業。名古屋大学総長顕彰受賞。2023年3月名古屋大学医学部医学科卒業。

三井 柚乃 (みつゐ・ゆの／愛知県出身／昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミー在籍)

ピティナ・ピアノコンペティションにおいて、2023年特級銀賞、G級銀賞、Pre特級ベスト5賞、グランミューズJカテゴリー第1位。第8回なごや青少年ピアノコンクール大学生部門第2位、総合2位、名古屋市長賞。第10回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan高校生部門金賞、杉谷昭子賞。第1回ラフマニノフ国際ピアノコンクールF部門第2位。梅田俊明、伊藤翔、大井剛史の各氏の指揮で、日本フィルハーモニー交響楽団、テアトロ・ジューリオ・ショウワオーケストラ等と共演。これまでにピアノを、江口文子、大友聖子、後藤正孝、長谷川淳の各氏に、室内楽を、故桑田歩、篠崎史紀、入江一雄の各氏に師事。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、昭和音楽大学、同大学院を首席で卒業・修了。同附属ピアノアートアカデミー在籍。2022年、2023年度明治安田生命クオリティオブライフ文化財団奨学生、2025年度山田貞夫音楽財団奨学生。

石山 和暉 (いしやま・よしあき／東京都出身／東京大学医学部医学科5年、桐朋学園大学カレッジ・ディプロマ・コース4年)

ピティナ・ピアノコンペティションにて、Pre特級銀賞、B級、D級、G級全国大会入選。2026年桐朋ピアノコンチェルトコンペティション第1位。第72回全日本学生音楽コンクール中学校の部東京大会第1位、全国大会入選。第24回ショパン国際ピアノコンクール in ASIAアジア大会 ショパニストA部門金賞、大学生部門銀賞。現在、今井彩子氏、本村久子氏に師事。東京大学医学部医学科5年及び桐朋学園大学カレッジディプロマ4年在籍。

西山 響貴 (にしやま・ひびき／東京都出身／桐朋学園大学院大学1年)

東京都出身。東京都立武蔵高等学校を経て、東京大学文学部美学芸術学専修課程卒業。5歳よりピアノを始める。ピティナ・ピアノコンペティションB・C級金賞、E級ベスト賞、Jr.G級・G級全国大会入選ほか。全日本学生音楽コンクールピアノ部門小学校の部東京大会第1位、中学校の部東京大会第1位、全国大会第3位。ショパン国際ピアノコンクール in ASIAソロアーティスト部門アジア大会金賞及びソリスト賞。2019年、モーツァルト音楽大学夏期講習会に参加し、ディーナ・ヨッフエ氏のクラスで学ぶ。室内楽やオーケストラ、合唱伴奏などさまざまな編成での演奏に積極的に取り組む。これまでにピアノを若尾佳代、椎野伸一、大野真嗣の各氏に師事。現在、桐朋学園大学院大学1年在学中。ピアノを田部京子、山本貴志、室内楽を銅銀久弥の各氏に師事。

特級2026 今後の開催スケジュール

特級セミファイナル 会場：第一生命ホール
日程：8/18 (火) 10:30開演
室内楽共演：青木尚佳、伊藤悠貴
選出人数：6名からファイナリスト4名

特級ファイナル・表彰式 会場：サントリーホール大ホール
日程：8/21 (金) 16:30開演
共演：太田弦(指揮)、管弦楽：日本フィルハーモニー交響楽団
内容：ファイナリスト4名によるピアノ協奏曲

全ラウンドYouTube
ライブ配信決定！



◆特級クラウドファンディング挑戦中！

国際的に活躍し、未来の音楽文化を担う音楽家を育てることは、一人の努力だけでは成り立ちません。真摯に聴いてくださる聴衆がいて、切磋琢磨する仲間がいて、その姿に憧れる子どもたちがいて、そしてさらなる高みへと導いてくれる指導者がいて、まだ見ぬ新しい世界との出会いと刺激があって…ようやく道が開けてくるのです。

2026年度は、目標金額を2段階で設定。支援が広がることで、ピアニストたちの演奏活動の場がさらに広がり、オンライン聴衆賞の実現や全国・海外での派遣が可能となります。届けた音楽が、聴衆や社会に還元され、また次の音楽を生み出す—そんな豊かな循環をつくることを目指しています。

《プレスリリースについてお問合せ》

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会（ピティナ） 広報担当：黒木・堀内

TEL: 03-3944-1583 MAIL: public_relations@piano.or.jp